

1. 概要

平成 17 年度

□ 職員等の移動

- ・ 田名瀬英朋氏を派遣職員として雇用（平成 17 年 4 月 1 日-平成 18 年 3 月 31 日）。
- ・ 新井伸一事務掛長が医学研究科へ転出、深尾秀正事務主任が農学研究科等経理課用度掛から事務掛長として着任（平成 17 年 4 月 1 日）。
- ・ 深見裕伸氏（カリフォルニア大サンディエゴ校スクリップス海洋研）を助手採用（平成 17 年 4 月 1 日）。
- ・ 津島由紀子氏が退所（平成 18 年 3 月 31 日）。

□ 行事・来訪者

- ・ 国立大学臨海臨湖実験所長会議(春季)(於お茶ノ水女子大学, 東京)、久保田信助教授が出席（平成 17 年 5 月 18 日）。
- ・ 瀬戸臨海実験所水族館創立 75 周年記念で水族館無料開放（大人 426 小人 229 計 655 名）（平成 17 年 6 月 4 日）。
- ・ 平成 17 年度博物館実習として北野裕子氏（奈良女子大学理学部生物科学科 4 回生）を受入（平成 17 年 6 月 13 日-6 月 17 日）。
- ・ 第 71 回近畿ブロック水族館飼育係研修会を開催（平成 17 年 6 月 14 日）。
- ・ 金田章裕副学長来所（平成 17 年 6 月 18 日）。
- ・ 大学院入試（平成 17 年 8 月 8 日-8 月 10 日）。
- ・ 平成 17 年度博物館実習として浅井香奈絵氏（愛媛大学理学部生物地球圏科学科地球科学系）を受入（平成 17 年 9 月 5 日-9 月 8 日）。
- ・ 瀬戸臨海実験所年報 18 巻発行（平成 17 年 12 月 25 日）。

2. 臨海実習

□平成 17 年度

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学及び高校の臨海実習が下記の通り実施された。

(大学・実習科目・実習期間・受講学生数)

京都大学理学部生物系臨海実習Ⅰ	8/15-8/22	延	32 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習Ⅰ	9/16-9/23	延	72 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習Ⅱ*	3/22-3/28	延	77 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習Ⅲ*	3/9-3/14	延	12 人・日
京都大学全学共通科目生物学実習Ⅱ	2/27-3/2	延	96 人・日
京都大学大学院理学研究科生物科学専攻 INTER LAB	4/15-4/16	延	80 人・日
京都大学大学院人間・環境学研究科海洋化学実習	7/26-7/29	延	68 人・日
京都大学全学共通科目「探求型化学実験」	8/28-9/1	延	60 人・日
京都大学防災研究所気象海象観測実験	9/10-9/11	延	34 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）	(1 部) 「海洋生物の多様性」 5/1-5/5	延	45 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）	(2 部) 「紀伊半島南部の里域生物相調査」 7/29-8/1	延	12 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）	「節足動物学入門」 9/12-9/16	延	15 人・日
京都大学フィールド科学教育研究センター森里海連環学実習	9/25-9/30	延	36 人・日

京都大学瀬戸臨海実験所公開臨海実習（学部生対象）	9/16-9/23	延	88人・日
京都大学瀬戸臨海実験所公開臨海実習（学部生対象）	3/26-4/1	延	56人・日
和歌山大学教育学部臨海（植物）実習A	4/8-4/12	延	30人・日
奈良女子大学理学部臨海実習	5/23-5/28	延	126人・日
放送大学第一学期面接授業	6/4-6/6	延	36人・日
奈良教育大学教育学部臨海実習「野外実習A-Ⅱ」	6/7-6/11	延	70人・日
大阪教育大学教育学部臨海実習	6/17-6/22	延	108人・日
和歌山大学教育学部臨海（動物）実習B	6/22-6/26	延	40人・日
滋賀高校 SPP 教員研修	7/1-7/2	延	38人・日
大阪市立大学理学部臨海実習	7/4-7/10	延	75人・日
歩む会臨海実習	7/15-7/16	延	30人・日
日米共同理科教育ネットワークプログラム	7/20-7/22	延	30人・日
滋賀県立膳所高等学校第36回生物実習旅行	7/22-7/25	延	88人・日
信州大学理学部計測化学特論実習	7/26-7/29	延	28人・日
兵庫県立尼崎小田高等学校サイエンスリサーチ科臨海実習	8/2-8/4	延	18人・日
関西学院大学理工学部臨海実習	8/5-8/9	延	110人・日
滋賀県立大学環境科学部自然環境特別実習	8/9-8/12	延	88人・日
大阪吹田市中学校・理科部教員教育研修会	8/22-8/23	延	20人・日
奈良女子大附属中等学校・サイエンス「夏の学校」	8/23-8/25	延	78人・日
京都教育大学教育学部生物学夏季実習 II 実習	9/1-9/5	延	110人・日
大阪大学理学部生物学臨海実習	9/5-9/10	延	102人・日
滋賀大学教育学部臨海実習	9/13-9/16	延	56人・日
大阪千代田短期大学磯観察実習	10/1-10/3	延	39人・日
クラゲメーリングリストオフ会	10/7-10/11	延	25人・日
立命館宇治高校 SPP 研究者招聘講座	10/15-10/16	延	54人・日
放送大学第二学期面接授業	10/15-10/16	延	40人・日
和歌山県立田辺高校生物部海洋生物実習	10/28-10/28	延	21人・日
白浜中学校職業体験学習	11/24-11/30	延	20人・日
龍谷大学環境サイエンスコース・環境フィールドワーク臨海実習	3/20-3/23	延	12人・日

（*前年度末に実施）

（計）	京都大学	13件	延	639人・日
	公開臨海実習	2件	延	144人・日
	他大学国立	9件	延	670人・日
	公立	2件	延	163人・日
	私立	3件	延	161人・日
	その他	12件	延	498人・日
（総計）		42件	延	2275人・日

○公開臨海実習は「海洋生物の生態・分類・発生学」と題して学部生を対象に実施し、茨城大学・お茶の水女子大学・京都大学・九州大学・姫路工業大学・東京工科大学・東洋大学からの学生11名が受講した。

○公開臨海実習は「無脊椎動物系統分類学」と題して学部生を対象に実施し、東邦大学・琉球大学・日本大学・佐賀大学・筑波大学・東京農工大学・北海道大学からの学生8名が受講した。

また地域貢献の一貫として、以下の行事が実施された。

(行事名・実施期間・参加者数)

県立田辺商業高等学校「NaGISAによる海草群集の調査」	5/22-5/22	延	10人・日
白浜町立富田小学校「海洋生物や水族館の施設を知る」	6/30-6/30	延	30人・日
きしわだ自然資料館友の会磯観察会	7/30-7/30	延	32人・日
白浜町地域ふれあいネットワーク実行委員会主催 「自然観察教室(海の生き物を見よう)」	8/4-8/4	延	24人・日
白浜町立白浜中学校 和歌山県キャリア教育実践プロジェクト	10/24-10/24	延	5人・日

3. 研究会・来訪研究者

下記の研究会が開催された。

○「第18回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：深見 裕伸（瀬戸臨海実験所・助手）“造礁サンゴ（イシサンゴ目）の分子系統分類と進化”。（17年4月6日）

○「第19回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：大塚 攻（広島大学大学院附属瀬戸内圏フィールドセンター竹原ステーション・教授）“動物プランクトンの寄生虫の生態”。（17年5月14日）

○「第1回刺胞動物談話会（NCB）」（17年11月9日-11日）

話題提供：

堀田拓史（鳥羽水族館）“クラゲ類の飼育・繁殖技術と分類学的研究”。

奥泉和也（鶴岡市立加茂水族館）“鶴岡市立加茂水族館のクラゲ展示について”。

柳 研介（千葉県立中央博物館分館・海の博物館）“ドフラインによって採集された本邦産
イソギンチャク類標本について”。

ジェイムス・デビス・ライマー（海洋研究開発機構）“Reticulate Evolution in the Genus
Zoanthus (Anthozoa, Hexacorallia). Preliminary Genetic, Reproductive and
Distributional Evidence”

上野俊士郎・現王園剛士・樋口昌子（水産大学校）“エフィラクラゲの生活環の飼育観察”。

来訪研究者は次の通りであった。

○平成17年度(2006年4月1日-2006年3月31日)

学内	56名	269日
(内外国人)	6名	14日)
他国立大学	104名	598日
(内外国人)	3名	10日)
公立大学	17名	56日
(内外国人)	0名	0日)
私立大学	20名	139日
(内外国人)	0名	0日)
公立研究所・博物館	11名	40日
(内外国人)	1名	3日)
国内その他	101名	320日
(内外国人)	1名	3日)

小計	309名	1422日
(内外国人)	11名	30日)
国外	9名	100日

合計	318名	1522日